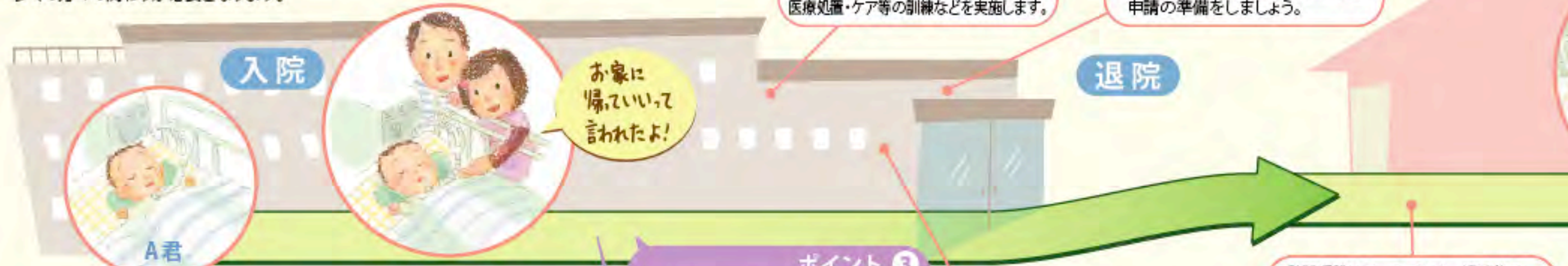


医療処置を必要としながら在宅で生活する子どもや家族への支援のポイント

医療処置を必要とする子どもや家族が円滑に地域生活に移行できるようにするためには、多くの方々の関わりが必要となります。



ポイント ①

退院決定前に以下を把握しておきます。

- ① 家族は子どもの状態を理解していますか？
- ② 家族は退院に対してどう思っていますか？
- ③ 家族の身近に相談できる方がいますか？

ポイント ②

退院準備を開始し、早い段階から情報収集、院内で合同会議を持ちましょう。

ポイント ③

家族が困ったときに相談できるところの見通しは立っていますか？

ポイント ④

関係者の顔合わせ、サービス調整のため、多職種合同会議を開きましょう。

必要に応じて、ベッドや車いす、吸引器等の用具の確保、住宅改修等を行いましょ。

訪問看護ステーションは、退院後の早い時期に子どもや家族を訪問します。

退院前のコーディネーター

● 主治医や病棟看護師に声をかけたり... ● 自宅外泊に同行したり...

退院前の多職種合同会議の開催

話し合われる内容

- 入院中のA君や家族の経過の説明
- 入院中の治療方針と退院までの見通し
- 退院日などに関する説明
- 退院後の在宅生活の計画や必要となるサービスに関する話し合い
- 利用可能な社会資源・サービス、制度に関する紹介や利用支援
- 生活の場に関する調整
- 退院後の相談先に関する検討など
- 地域の関係者からの要望
- 退院前に家族に医療処置や介護技術の訓練を行ってほしい など